

統計解析を活用したオリジナル化粧箱のデザイン開発

支援先

つくばブルーベリー園

【開発の背景】

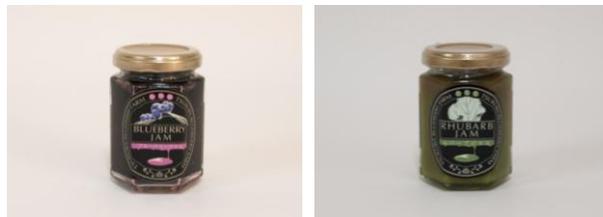


図 1 ブルーベリージャム(左)
ルバーブジャム(右)

つくば市内にはブルーベリー生産者による協議会があり、各社にて摘み取り体験やブルーベリー製品の生産などを行っています。

支援先のつくばブルーベリー園でもブルーベリーなどのジャムを生産し、来園者やつくば市内で販売しております(図1)。

今回、新たにジャム用の化粧箱のデザイン開発に統計解析を活用して取り組みました。

【開発の経緯・支援内容】



図 2 試作 A

過去に工業技術センターでは支援先企業のジャムラベルデザインに協力した経緯があり、その経緯から化粧箱についても支援することとなりました。

デザインの試作(図2~4)を行い、その試作を用いて消費者の嗜好調査および各デザイン選択の有意差を統計解析し客観的に求めました。

その結果、計 287 件の有効回答が得られ、全回答者を対象とした場合は3つのサンプルの平均点差は見られませんが、30代男女、40代男女、30代男性、40代男性、40代女性には平均点差が見られました。



図 3 試作 B



図 4 試作 C

【開発製品の紹介】



図 5 完成品

支援先企業では今回の結果を参考に、最終的に図5の箱を作成し、自社製ジャムや自社製ブルーベリー葉茶などの包装に用いております。

■主な用途

自社ブルーベリー農園でのジャム等の購入者への製品提供時の包装

基礎となった事業

平成 24 年度 オンリーワン技術開発支援事業(受託研究)

現在の担当部門

産業連携室

室

長

児玉 弘人

TEL:029-293-7213

主任研究員

石川 章弘